

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城広瀬総合運動場（仙台環境開発スポーツパーク宮城広瀬）
2	指定管理者	TM共同事業体
3	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 143,722 人（前年度比 92.7%） 前年度 155,037 人 ※プール施設が改修工事により2月下旬～3月末まで休館した影響で、プール利用者が減少した。天候不良や震災後に利用休止していた市内の野球場が利用再開した影響で、野球場、グラウンドの利用者が減少した。</p> <p>《事業》水泳教室、陸上スポーツ教室等の各種教室事業、教室型運動イベント、震災復興支援事業、泳力検定会、4施設合同水泳記録会、地域指導者講習会、地域へ向けたアウトリーチ指導、小学生スポーツ振興事業、近隣小学校夏休みスタンプラリー等の仙台市民の幅広い年代に対応した事業を実施。町内会等の地域と連携した運動イベントの実施。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 70,228千円 (70,038千円) ( )は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 6,720千円 (4,309千円)</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 20,308千円 (22,247千円)</p> <p>・ その他収入 1,834千円 (1,857千円)</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》 平成29年11月15日から平成29年12月6日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。</p>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。 また、市民スポーツ活動の推進についての取り組みがなされている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制は構築されており、概ね安全に対する職員間の意識の浸透が図られている。	S
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 また、利用者に対するごみ分別の呼びかけや職員による資源の再利用等、新・仙台市環境行動計画に基づく取り組みが積極的に行われている。	S
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成29年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 利用者からの要望や苦情への対応も、積極的かつ迅速に行われ、職員全体でサービス向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行っている。 また、プールの運営については利用者の安全性確保がなされている。 天候不良や他施設の復旧の影響で野球場及びグラウンド利用者が減少し、結果として目標の利用者数は達成されなかった。	A

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（TM共同事業体）による自己評価》
<p>仙台市スポーツ公共施設指定管理者として、効率だけを最優先することにより、公共サービスが著しく低下しないよう、地域の雇用を守り、地域社会を支え、地域に安全と安心を提供できるように公共サービス基本法に準拠した考えの下、公共性をしっかりと担保し市民に対して質の高いサービスを提供するよう施設運営を行いました。事業面におきましては、教室開催、講習会や各種スポーツ大会の開催など多彩な事業を展開しました。危機管理に関しては、安心、安全な施設を維持できるよう、事故や災害等に関する事前対策、緊急時対策、再発防止対策を明確化し、常に安全性が確保された管理運営を遂行しました。22年度より継続して実施している震災復興支援事業におきましては、バレーボールで北京オリンピック出場の齋藤信治氏、グラチャンバレー銅メダルの内藤香奈子氏、大塚商会アルファーズヘッドコーチ青野和人氏の3名をお招きし、親子ふれあい教室やバレーボール・バスケットボール教室を開催し、参加者数75名、総来館者数延べ300名(参加含む)にて高評価を頂きました。また、小学生スポーツ振興事業として、夏休み期間中の小学校と連携しスタンプラリーを実施。今年度は対象小学校を12校に拡大し、地域の小学生の運動のきっかけ作りに貢献いたしました。施設管理にも力を入れ、施設名看板の塗装を行い、道路からもはっきりと施設名が読めるように改善した事や、駐車場のラインを新たに引き直し、駐車場混雑が大幅に解消されました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>管理面については、独自のビルマネジメントシステムの活用により効率的かつ一体的な管理が着実に実行されており、利用者の安心安全な利用環境の整備を行っている。</p> <p>運営面については、近隣の小学校を対象とした事業の実施や、地域への講師の派遣、清掃活動の実施等地域連携に積極的に取り組むとともに、分かり易い施設案内の実施や広報活動の充実等利用者の増加に取り組んでいる。</p> <p>また、自主事業として、定期制・通年制教室ともに、市民の年齢や生活スタイル、目的に応じたスポーツ教室を多様に開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。</p> <p>天候不良や他施設の復旧の影響で野球場及びグラウンド利用者が減少し、結果として目標の利用者数は達成されなかったが、上記から取り組みは十分に評価できる。</p> <p>今後とも、青葉区・宮城地区のスポーツ活動の拠点としての役割を担い、地域密着型のスポーツ施設として質の高い管理運営を継続的に実施していくことを期待したい。</p>	<p>S</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課